

令和2年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

小 論 文

(生物資源科学部 環境共生科学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は3枚、下書き用紙は2枚である。指示があってから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

小論文問題紙

生物資源科学部 環境共生科学科

次の課題1と課題2の両方に解答しなさい。なお、解答を必ず課題ごとに指定された解答用紙の所定のところに記入すること。

下書き用紙は、文章の構成や論点のメモ等、自由に用いてかまいません。ただし、下書き用紙も提出すること。

課題1

次の文章を読んで、課題1-1と課題1-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(出典：ジャレド・ダイヤモンド、倉骨彰 訳「銃・病原菌・鉄」2000年 草思社)

課題 1-1

なぜ著者は、「発明は必要の母」と考えているのか、本文から読み取れる理由を 150 字以内で書きなさい。

課題 1-2

現代社会では、さまざまな環境問題を解決する「必要」があります。具体的な環境問題をひとつあげ、身近な「発明」を用いた独自の解決方法を 400 字以内で書きなさい。

課題 2

「地域再生」がいろいろなところで議論されています。そもそも地域が再生するとはどういうことなのでしょう。あなたの考える地域再生を、あなたが志望している「環境共生」の視点から 600 字以内で説明しなさい。